2026.11.01　Vol.13

ぎふ農研NEWS

一般社団法人ぎふクリーン農業研究センター

検体搬入マニュアル(残留農薬分析版)

今号では、これがあれば残留農薬分析の「依頼から報告までの流れ」が分かる！というパンフレットを作成しました。ご依頼時の疑問点などを解決できる1冊となっておりますのでご一読いただけると幸いです。※一斉分析用のマニュアルとなっておりますので、単成分分析をご希望の場合はご相談ください。

こんな方に一斉分析はおすすめです

- 出荷する作物に農薬が残っていないか確認したい
- GAPの取り組みのひとつとして残留農薬分析を依頼したい
- 出荷先に分析報告書を求められた

chapter 1 試料の準備

- ◆検体採取方法　採取時に注意すること、採取場所
- ◆例外作物必要量　原則量がなくてもよい作物の例
- ◆検体の状態　検体として提出可能な状態の作物とは
- ◆搬入時の注意事項　どのような状態で搬入したらよいか

2 分析依頼の準備

- ◆依頼書の書き方　JA・JA以外の記入例
- ◆JA年間計画について　JAのみ…計画通りの搬入が出来ない場合等
- ◆相談するところ　JAのみ…JA全農岐阜及び当センターどちらかへ

3 報告書の受け取り

- ◆分析結果の報告　JA・JA以外の報告書の流れ
- ◆分析報告書の見方　基準値・検出下限・分析結果等の説明

野菜の花

今回は冬に旬を迎える野菜の花を掲載しました。

上段はカリフラワーの花です。アブラナ科の野菜で1年を通して出荷されますが、旬は11月～3月頃です。普段食しているのは花蕾(からい)と呼ばれるつぼみの部分ですが、収穫せずそのまま放置されると写真のような状態になります。

下段は白菜の花です。こちらもアブラナ科の野菜で11月～2月頃に旬を迎えますが、収穫せずそのまま放置すると春頃に花が咲きます。スーパーなどで食用「なばな」を見かけますが、白菜の「なばな」は苦みが少なくほんのり感じる甘みが特徴的で、市場に出回る量が少ないことから「知る人ぞ知る幻のなばな」と言われているそうです。





撮影：平工 孝義

1 試料の準備



圃場の代表となるように
試料を準備することが重要です！

原則

☆大きさが揃ったもの５個(本)以上 かつ
☆トータル１kg以上

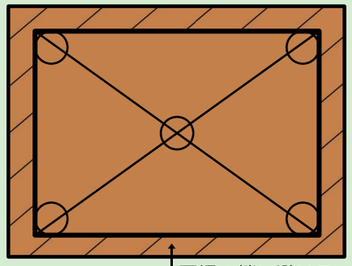
ご用意ください。

検体採取方法

右の図は圃場内の5箇所から採取する場合の一例です。この場合、端から少し中に入った4コーナーと真ん中の計５箇所からほぼ同量ずつ偏りが無いよう採取し、これらを混ぜ合わせた後、提出用として5個以上かつ1kg以上となるように任意に抜き取ります。

なお、採取時は、農薬に接触した恐れのある手・用具・衣服等からの汚染に十分注意してください。

圃場イメージ図
～5箇所採取の例～



例外作物必要量

※以下のものは1kg以上なくても問題ありません。

作物	検体必要量	備　　考
つまもの	300g	パセリの葉、サンショウの果実 等
茶	200g	
直売所検体出荷総量	**検体必要量**	**備　　考**
1kg	300g	直売所から抜き取った作物を検体として提出する場合
2kg	600g	
3kg	1kg	

検体の状態

市場へ出荷できる状態のもので、可能な限り均一なサイズのものを選んでください。

※傷みや腐りがないもの、障害(病害虫・未熟など)のあるものは避けてください。

2 分析依頼の準備

依頼書の書き方

JA

生産履歴・チェックシートを添付してください。



（様式３）
（ＪＡ用）

記入例

残留農薬検査依頼書
（スクリーニング検査・単成分検査）

（一社)ぎふクリーン農業研究センター使用欄

（依頼先）
一般社団法人ぎふクリーン農業研究センター宛
〒500-8367　岐阜市宇佐南4-11-5
（TEL：058-276-5072　FAX：058-276-5074）

（一社)ぎふクリーン農業研究センター記入欄）
受付番号　：
受付日　：　年　月　日
受付者　：

太枠内は依頼者において記入いただき、FAXをお願いします。

① 検査依頼日	2026年　11月　1日			
依頼ＪＡ名	ぎふＮＥＷＳ　農業協同組合			
② 支店･担当部署名	岐阜市支店　管理部門	担当者名	農研　太郎	
電話番号	058-123-4567	ＦＡＸ	058-123-6789	

※分析依頼は本店経由でお願いします。

結果報告先	本店　担当部署
③ 分析項目区分（該当項目の□に✔チェック）	☑ 一斉分析標準２５０(スクリーニング検査) ☐ 単成分分析　（　　）　（　　）
④ 生産者名	岐阜　花子
対象作物	トマト
⑤ 試料番号　※注意1	ぎふ26110101
⑥ 採取圃場(所在地)	岐阜市宇佐南4丁目11番5号
圃場からの採取月日	2026年10月31日
⑦ GAP認証に係る分析の該当の有無　※注意2	無・(有)　GAPの種類（　ぎふ清流GAP　） ※GAP認証に係る分析依頼の場合は、必ず事前にご相談ください。
⑧ 補助事業該当の有無　※注意3	無・(有)(交付決定日：　8/10　)
補助事業申請者名義	岐阜　花子
生産履歴　※注意4	別添（※チェックシートも添付）
備考　※注意5	重量：　kg　(1kg以上) 数量：　個　(5個, 株以上) 品質：　良・やや不良・不良 搬入：　持込・配送 ⑨ 備考：FAXでも良いので5日までに手元に欲しい。

検体搬入時に(一社)ぎふクリーン農業研究センターで記入

【ご依頼時の注意事項】
- 報告までに要する時間は、受付日から7～10日後です。時期によっては上記以上かかる場合もありますのでご了承下さい。
- 試料区分用に任意の番号を設定願います(試料番号を手元に控えること)。(注意1)
- GAP認証に係る分析依頼の場合は、「有」に○を付して、GAPの種類を正確に記入して下さい。成分によっては分析できない場合もあるので、別添の書類提出とともに必ず事前にご相談ください。(注意2)
- 県などの補助事業による助成を受ける場合は、「有」に○を付して、交付決定通知の日付、補助事業申請者名義を正確に記入して下さい。(注意3)
- 生産履歴には、防除･施肥記録を記入し、必ず試料と同時に送付願います。(注意4)
- 試料送付時のサンプル量･送付方法等が不明な場合は、必ず事前に相談願います。(注意5)
- 報告書発行後は、原則変更はできませんのでご了承下さい。

（一社)ぎふクリーン農業研究センター　受付印

ＪＡ全農岐阜　耕種資材施設部　営農対策課

① **検査依頼日**
試料搬入(到着)予定日をご記入ください。

② **支店担当部署名、担当者名、TEL、FAX**
お問い合わせさせていただく際に、ご依頼検体についてご対応いただける方のご連絡先など、必要事項をご記入ください。

③ **分析項目区分**
分析希望項目に✓を付けてください。単成分分析をご希望の場合は（　）内に成分名をご記入ください。

④ **生産者名**
依頼書に添付していただく生産履歴の氏名をご記入ください。茶の履歴など、生産者が複数人になる場合は「○○生産組合」のようにご記入ください。

⑤ **試料識別番号**
任意の番号を設定してください。個人情報保護のため個人名は原則使用しないでください。試料を入れた袋にも同じ番号の記載をお願いします。

⑥ **圃場からの採取月日**
試料を圃場から採取した月日をご記入ください。いも類・かんきつ類など収穫後に貯蔵する作物などは、貯蔵場所から取った日ではなく圃場からの採取日となりますのでご注意ください。

⑦ **GAP認証に係る分析の該当の有無**
該当する場合は（　）内にGAPの種類をご記入ください。「有」の場合はGAPで定めたルールを確認し、当センターの実施している項目が、その条件を満たしているかご確認ください。

⑧ **補助事業申請者名義**
県や市町村などの補助事業による助成を受けての分析依頼の場合は「有」に○を付け、交付決定通知書の日付・補助事業申請者名義をご記入ください。

⑨ **備考**
その他要望事項などございましたらご記入ください。



搬入時の注意事項

事前連絡　搬入時までに、必要書類(依頼書等)をFAXする等事前に連絡してください。
送信先：(一社)ぎふクリーン農業研究センター宛て　　FAX 058-276-5074

個別包装　搬送用容器や他検体からの汚染を防ぐため試料は全体を包装してください。
包装には、新品の買い物袋など農薬の汚染が無いものを使用してください。

低温配送　低温条件で配送してください。
配送か持ち込みのどちらでも良いですが、配送の場合はクール便で、持ち込みの場合は凍結しない程度の低温条件でお願いします。(天日乾燥や機械乾燥した試料は除きます)
配送先：〒500-8367 岐阜市宇佐南4丁目11番5号
(一社)ぎふクリーン農業研究センター宛て　　TEL 058-276-5072

相談するところ

相談内容	JA全農岐阜 営農対策課 058-276-5301	当センター 058-276-5072
計画に関する変更(搬入時期の変更・搬入中止など)	○	
作物の生育トラブルなどによる分析依頼	○	
当センターにて分析可能な成分		○
検体必要量		○
分析依頼書の書き方		○
チェックシートの書き方	○	
生産履歴の内容について	○	
報告可能日		○

JA年間計画について

毎年1月上旬に、JA全農岐阜営農対策課より年間計画作成依頼があり、各JA本店が提出した作物別月別搬入計画書に基づき搬入していただきます。

搬入日は原則火曜日でお願いしておりますが「生産者が別の曜日に作物を持参した」「農薬がかかって作物が枯れてしまった」「搬入を忘れていた」などの場合はその限りではございませんのでご相談ください。その際に搬入日の変更理由(生育が遅れている、搬入を忘れていたなど)をお伝えください。

また、トラブルに関する分析依頼の場合は、その背景や農薬が高濃度なのか等お知らせいただけますと幸いです。

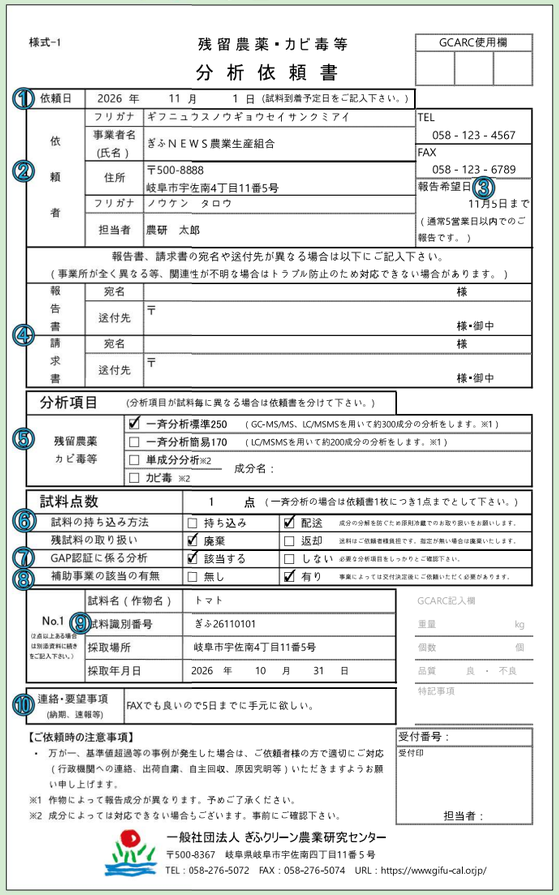
上記ご相談に関する連絡先：JA全農岐阜 営農対策課 TEL058-276-5301

JA以外

依頼書の書き方

ご不明な点がありましたら
当センターへご連絡ください。





様式-1

残留農薬・カビ毒等
分析依頼書

GCARC使用欄

① 依頼日　2026年　11月　1日（試料到着予定日をご記入下さい。）

② 依頼者
- フリガナ　ギフニュウスノウギョウセイサンクミアイ
- 事業者名(氏名)　ぎふＮＥＷＳ農業生産組合
- TEL　058 - 123 - 4567
- FAX　058 - 123 - 6789
- 住所　〒500-8888 岐阜市宇佐南4丁目11番5号
- フリガナ　ノウケン　タロウ
- 担当者　農研　太郎
- ③ 報告希望日　11月5日まで（通常5営業日以内でのご報告です。）

報告書、請求書の宛名や送付先が異なる場合は以下に ご記入下さい。
（事業所が全く異なる等、関連性が不明な場合はトラブル防止のため対応できない場合があります。）

④ 報告書
- 宛名　様
- 送付先　〒　様・御中

④ 請求書
- 宛名　様
- 送付先　〒　様・御中

分析項目（分析項目が試料毎に異なる場合は依頼書を分けて下さい。）

⑤ 残留農薬 カビ毒等
- ☑ 一斉分析標準250（GC-MS/MS、LC/MSMSを用いて約300成分の分析をします。※1）
- ☐ 一斉分析簡易170（LC/MSMSを用いて約200成分の分析をします。※1）
- ☐ 単成分分析※2　成分名：
- ☐ カビ毒 ※2

試料点数　1　点（一斉分析の場合は依頼書1枚につき1点までとして下さい。）

⑥ 試料の持ち込み方法　☐ 持ち込み　☑ 配送　成分の分解を防ぐため原則冷蔵でのお取り扱いをお願いします。
残試料の取り扱い　☑ 廃棄　☐ 返却　送料はご依頼者様負担です。指定が無い場合は廃棄いたします。
⑦ GAP認証に係る分析　☐ 該当する　☐ しない　必要な分析項目をしっかりとご確認下さい。
⑧ 補助事業の該当の有無　☐ 無し　☑ 有り　事業によっては交付決定後にご依頼いただく必要があります。

No.1
（2点以上ある場合は試料通番資料に続きをご記入下さい。）
- 試料名（作物名）　トマト
- ⑨ 試料識別番号　ぎふ26110101
- 採取場所　岐阜市宇佐南4丁目11番5号
- 採取年月日　2026　年　10　月　31　日

GCARC記入欄
重量　kg
個数　個
品質　良　・　不良
特記事項

⑩ 連絡・要望事項（納期、速報等）　FAXでも良いので5日までに手元に欲しい。

【ご依頼時の注意事項】
- 万が一、基準値超過等の事例が発生した場合は、ご依頼者様の方で適切にご対応（行政機関への連絡、出荷自粛、自主回収、原因究明等）いただきますようお願い申し上げます。

※1 作物によって報告成分が異なります。予めご了承ください。
※2 成分によっては対応できない場合もございます。事前にご確認下さい。

受付番号：
受付印
担当者：

一般社団法人 ぎふクリーン農業研究センター
〒500-8367　岐阜県岐阜市宇佐南四丁目11番５号
TEL：058-276-5072　FAX：058-276-5074　URL：https://wwwgifu-cal.ojp/

① **検査依頼日**
試料搬入(到着)予定日をご記入ください。

② **依頼者(事業者名・住所・担当者・TEL・FAX)**
お問い合わせさせていただく際に、ご依頼検体についてご対応いただける方のご連絡先など、必要事項をご記入ください。

③ **報告希望日**
通常5営業日以内でのご報告となりますが、具体的な日にちがございましたらご記入ください。

④ **報告書・請求書**
報告書送付先及び請求先が依頼者と同じ場合は、ご記入いただく必要はございません。

⑤ **分析項目区分**
分析希望項目に✓を付けてください。単成分分析をご希望の場合は成分名をご記入ください。

⑥ **試料の持ち込み方法**
試料の腐敗や農薬成分の分解を抑えるために、いずれの場合でも低温下で取り扱うことをお勧めします。

⑦ **GAP認証に係る分析**
該当する場合は、GAPで定めたルールを確認し、その条件を満たしている分析項目かどうかご確認ください。

⑧ **補助事業申請者名義**
県や市町村などの補助事業による助成を受けての分析依頼の場合は「有り」に✓を付けてください。

⑨ **試料識別番号**
任意の番号を設定してください。個人情報保護のため個人名は原則使用しないでください。試料を入れた袋にも同じ番号の記載をお願いします。

⑩ **連絡・要望事項(納期・速報等)**
その他要望事項などございましたらご記入ください。

3 報告書の受け取り

分析結果の報告

原則5営業日で報告書が完成し、その後ご依頼者へ送付します。分析の混み具合により、もう少し期間がかかる場合がありますのでご了承ください。

報告書の流れ

JAの場合……ぎふクリーン農業研究センター ▶ JA全農岐阜営農対策課 ▶ 各JA本店

JA全農岐阜営農対策課にて、生産履歴の内容及び分析報告書との整合性をチェック後……

→不備がなければ報告書が送付されます。

→不備がある場合はJA全農岐阜営農対策課より調査確認作業が依頼され、確認が取れ次第報告書が送付されます。

JA以外の場合……ぎふクリーン農業研究センター ▶ 依頼者

郵送にて送付しますので、報告日から2～3日後に到着します。FAXやEメール等による速報対応も可能です。

分析報告書の見方

1枚目には、依頼書や実際の試料を元に、依頼情報を記載しています。

2枚目以降には、各成分ごとの分析結果を記載しています。



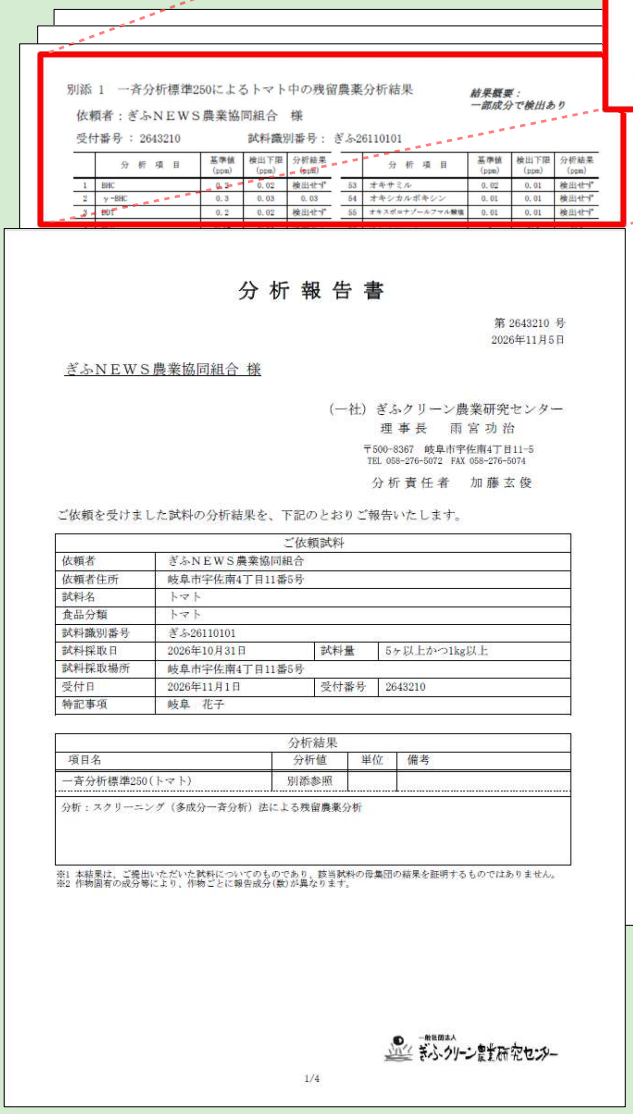
別添 1　一斉分析標準250によるトマト中の残留農薬分析結果

結果概要：一部成分で検出あり

依頼者：ぎふＮＥＷＳ農業協同組合　様

受付番号 ： 2643210　　試料識別番号 ： ぎふ26110101

	分析項目	基準値(ppm)	検出下限(ppm)	分析結果(ppm)		分析項目	基準値(ppm)	検出下限(ppm)	分析結果(ppm)
1	BHC	0.2	0.02	検出せず	53	オキサミル	0.02	0.01	検出せず
2	γ-BHC	0.3	0.03	0.03	54	オキシカルボキシン	0.01	0.01	検出せず
3	DDT	0.2	0.02	検出せず	55	オキスポコナゾールフマル酸塩	0.01	0.01	検出せず



分析報告書

第 2643210 号
2026年11月5日

ぎふＮＥＷＳ農業協同組合 様

（一社）ぎふクリーン農業研究センター
理事長　雨宮功治
〒500-8367　岐阜市宇佐南4丁目11-5
TEL 058-276-5072　FAX 058-276-5074
分析責任者　加藤玄俊

ご依頼を受けました試料の分析結果を、下記のとおりご報告いたします。

ご依頼試料			
依頼者	ぎふＮＥＷＳ農業協同組合		
依頼者住所	岐阜市宇佐南4丁目11番5号		
試料名	トマト		
食品分類	トマト		
試料識別番号	ぎふ26110101		
試料採取日	2026年10月31日	試料量	5ヶ以上かつ1kg以上
試料採取場所	岐阜市宇佐南4丁目11番5号		
受付日	2026年11月1日	受付番号	2643210
特記事項	岐阜　花子		

分析結果			
項目名	分析値	単位	備考
一斉分析標準250（トマト）	別添参照		
分析：スクリーニング（多成分一斉分析）法による残留農薬分析			

※1 本結果は、ご提出いただいた試料についてのものであり、該当試料の母集団の結果を証明するものではありません。
※2 作物固有の成分等により、作物ごとに報告成分（数）が異なります。

一般社団法人 ぎふクリーン農業研究センター

1/4

結果概要

結果の概要を以下の2パターンで表示しています。

・全成分検出せず(下限未満)
　分析結果が全ての分析項目で「検出せず」となる場合。
・一部成分で検出あり
　分析結果に1つでも数値が入っている場合。

分析項目

・分析した農薬の有効成分名で表記しています。
・有効成分は農薬のラベルに記載されています。
(例：モスピラン顆粒水溶剤→アセタミプリド)
・分析項目数は作物によって異なります。

基準値(ppm)

・消費者庁が定める「食品、添加物等の規格基準(残留農薬基準)」に基づいた基準値です。
・作物、成分によって基準値は異なります。
・この基準値以内であれば食品衛生法上の問題はありません。

検出下限(ppm)

・農薬が検出された場合に結果をお示しできる最小濃度です。
・基準値の1/10の値を目安としており最小値は「0.01」です。

分析結果(ppm)

・農薬の検出量が検出下限未満の場合
　→「検出せず」が入ります。
・農薬の検出量が検出下限以上の場合
　→数値が入ります。

編集後記

ぎふ農研NEWS Vol.13を手に取っていただきありがとうございます。
今号を作成する中で、改めて重要だなと感じたのは試料の準備です。私共ができるのはお持ちいただいた試料を正確に分析し報告することまでで、その結果自体は、お持ちいただいた試料の結果にすぎません。そこに、＋αの意味を持たせるのが試料の採取方法であり、当センターにお持ちいただく試料量なのです。
分析費用は決して安くありません。より有意義な分析とするにはどうしたら良いか、そんなことを考える機会にもなれば良いなと思います。（H.K）

一般社団法人 ぎふクリーン農業研究センター
〒500-8367
岐阜市宇佐南4丁目11番5号
TEL：058-276-5072　FAX：058-276-5074
URL：https://www.gifu-cal.or.jp
↑過去の記事は当センターのホームページでご覧になれます